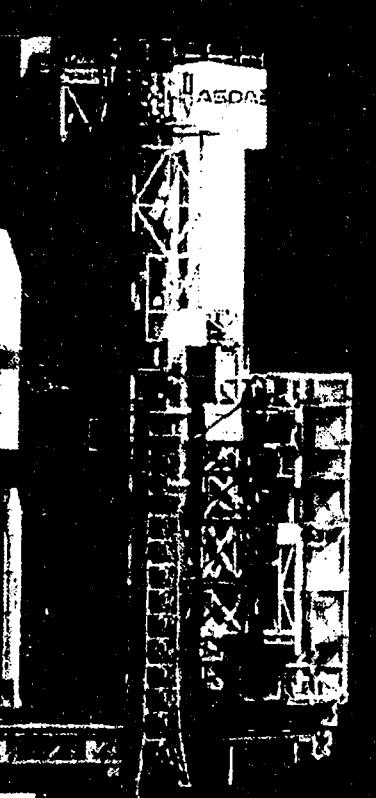


日刊 重労千葉

國鐵千葉動力車勞動組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話{(鉄電)千葉2935・2936番
(公)043(222)7207番

94.7.12 No. 4024



発射準備に入るH2型ロケット。全長46メートル、4トンの打ち上げ能力があり、大型衛星、宇宙船、スペースシャトル、月・惑星探査機などを打ち上げるとされる。低成本、推力、導航精度など世界第一級で、94年2月4日、種子島宇宙センターから発射された。

日本は
数週間で
核武装は可能

日本が核武装した軍事大国化に変貌するには、たいした時間は必要ないといわれている。技術水準、生産水準でいえば「数週間で核武装は全く可能」と言われている。

すでに巨大原発は四十基以上と大量のプルトニウムを保有

今年の広島・長崎反戦闘争の意義ははかりしれない程大きなものであることを、しつかりと捉えなければならない。

日本は唯一の被爆国だ。だから核兵器なんかつくるはずがない、核武装なんかするわけがない。そう思っている人も多い。ところが事実はそうではなくて核武装への道はどんどん進められています。にもかかわらず国民がそう思つていらないことに危機感をもちます。

(植田敦氏・元理化学研究所員)

「黙そひだら…」
広がる危機意識
行動こそ本筋で
てある。

とする朝鮮侵略戦争の危機が一刻と切迫している。こうした情勢は労働者人民の広汎な危機意識を生み出している。今日すんでいる政治的大流動化と重ね合わせ「このままいつたら日本はどうなる」「黙つていいたら大変なことになる」という感覺を多くの人々が抱いていることは明白である。

反戦の原点・「ヒロシマ・ナガサキ」を解体するために原水禁を運動をさらに連合主導下に敷き詰め核武装翼賛運動を全面展開する攻撃がつよめられている。特に怒りをもつて弾劾すべきアハ、JR総連・革マルの動きで担ある。崩壊のどたん場で喘ぐ彼らは、最後の生き残りをかけた反潜り込みの場としてペテン的に、「護憲」を看板にし、原水禁運動への反動的介入を策動したことである。

JR輸送。
英マニの
反動的介入を
断じて許す

怒りも新たに、反戦・反核闘争の前進のためにがんばろう。